



2022年8月10日

各位

会社名 株式会社ミズホメディー
 代表者名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成
 (コード番号：4595 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛
 (電話番号：0942-85-0303)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月9日に公表しました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年12月期 通期業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月9日公表)	11,959	6,498	6,506	4,598	482.76
今回修正予想(B)	14,503	8,532	8,538	6,001	630.11
増減額(B-A)	2,543	2,034	2,032	1,403	—
増減率(%)	21.3	31.3	31.2	30.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	13,137	6,698	6,700	4,816	505.73

(注) 2022年12月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、前期実績(2021年12月期)につきましては、当該会計基準等を適用する前の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

下半期の予想につきましては、第2四半期累計期間の実績を踏まえ、直近の実績及び以下の前提条件に基づき算定しております。

現下の新型コロナウイルス感染症の第7波は、オミクロン変異株(BA.5)により、かつてない規模の感染再拡大となっており、遺伝子検査キット「スマートジーン SARS-CoV-2」及び各種抗原キットの需要は急増しております。これら製品の供給に注力するなか、直近の売上高は増加しており、これに伴う売上構成比の変化や稼働率の上昇等により、各利益も増加が見込まれます。

この第7波は、現在ピークに差し掛かっているといわれており、その後は収束に向かうことが予想されます。また、この第7波に続く次の感染再拡大につきましては、その時期や規模について予測は困難であるため、年内の感染拡大は抑制されるという予想を前提としております。

このような前提に基づき、下半期の遺伝子検査キット「スマートジーン SARS-CoV-2」の予想出荷数は、約75万テスト(上半期は約100万テスト)を見込んでおり、また、下半期の新型コロナウイルスの各種抗原キット(新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルス抗原同時検出キット含む)の予想出荷数は、約260万テスト(上半期は約120万テスト)を見込んでおります。

なお、今後の業績推移に応じて、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年12月期配当予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月9日公表)	円 銭 50.00	円 銭 95.00	円 銭 145.00
今回修正予想	—	130.00	190.00
当期実績	60.00	—	—
前期実績 (2021年12月期)	50.00	105.00	155.00

(2) 修正の理由

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。この方針に基づき、配当性向30%（年間）を目標として配当を実施するよう努めております。

通期業績予想の修正という結果を踏まえ、2022年12月期の期末配当予想につきましては、1株当たり95円から35円増額し、130円（中間配当金60円と合わせ年間配当金190円、配当性向30.2%）に修正させていただくことといたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上